



# 海蔵寺だより

第26号

令和5年3月  
発行

大雪もひと段落、春明の兆しも見えるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。冬から春に移るこの時期、仏教では「涅槃会」、「降誕会(はなまつり)」と、二つの大切な行事があります。降誕会は、はなまつりとしてよく知られるものですが、涅槃会についてはご存じない方も多いのではないのでしょうか。今回はその「涅槃会」について特集いたします。

## お釈迦さまの「入滅」

仏教の世界には、おおよそ宗派を問わず「三仏忌」と呼ばれる、お釈迦さまの生涯の大きな節目を偲ぶ行事があります。それぞれ、

「涅槃会(ねはんえ-2月15日)」、

「降誕会(ごうたんえ-4月8日)」

「成道会(じょうどうえ-12月8日)」

といい、仏教徒として大切な行事です。そのなかの「ねはんえ涅槃会とは、お釈迦さまが涅槃(ねはん)に入られた日、即ち亡くなった日です。(「入滅-にゅうめつ-した日」とも呼ばれます)



この涅槃会にて仏教僧侶は、「遺経(ゆいきょう)」というお経を読みます。これはお釈迦様が入滅する直前に、それまでの45年間に渡る布教の旅で説いてきたことを最後にまとめて説いた内容となっており、人が亡くなった時の最初のお勤めである「枕経」の時にも読まれるお経です。正式名称を「ぶっしはつねはんりゃくせつきょうかいぎょう仏垂般涅槃略説教戒経」といいます。(※本来の枕経とは、亡くなる直前に読まれる、お釈迦さまの教えの要点を説いたお経を言います。)

涅槃会の時期を迎えると多くの仏教寺院では、「涅槃図」というお釈迦さまが亡くなる直前の場面を描いた絵をかけ、遺経も涅槃図に向かいお唱えします。

お釈迦さまは最後の説法として「私はこれで居なくなるが、これからあなたたちは自身を頼りとし、私が伝えた教えを、闇を照らす灯として生きていきなさい。」「この世は諸行無常です、じどうみょう ほうどうみょう怠らず精進しなさい。<sup>\*1</sup>」と言い残し、入滅されました。この言葉は「じどうみょう ほうどうみょう自灯明・法灯明の教え」として、遺経が伝える主題の一つとなっています。

皆さんもよろしければ、この仏様の命日に一度手を合わせて、2500年前に起こったこの瞬間に、思いをはせてみてはいかがでしょうか。

\*1 …… 『曹洞宗 曹洞禅ネット SOTOZEN-NET 公式ページ』内の『涅槃会』のページを参照。

## 海蔵寺の書籍紹介



海蔵寺休憩所にある書籍より、読んで楽しい仏教のおススメ書籍を紹介していきます。

### 〈左〉『仏教と仏事のすべて』(2018)

大久保良峻 監修 主婦の友社

仏教の基本を網羅した読みやすい実用書。供養のやり方や仏教でよく出てくるキーワード、基本なお経の読解など、**仏教の「なぜ？」や「なに？」がイラスト付きで**広く説明されています。仏教についての兼ねてからの疑問が、この本で解決するかも？

### 〈右〉『ブッダも笑う 仏教のはなし』(2016)

笑い飯 哲夫 著 サンマーク出版

2010年にお笑いの「M-1グランプリ」優勝を果たしたコンビ芸人「笑い飯」の哲夫さんが、非常に読み易い文章で仏教を語ります。

『この世はカレーです。大きい大きい鍋に入ったカレーです。カレーライスではありません。かける方のカレーです。』(74ページ)

芸人の舞台文句のような笑いどころ満載の文章の中で、仏教の世界観を分かり易く語ります。**気軽に読み飛ばせる一方で内容は仏教の大事な世界観を見事に網羅しています。**

どちらも私の僧堂時代の愛読書で、最初に手に取って頂く仏教書としてはカンペキな一冊であると思います！

## 羅漢堂に新しい屏風が導入されました!!

羅漢堂で行う「開眼供養」(魂入れ供養のこと)の際に使用します。新しいお仏壇やお位牌が来たときに使われますよ。

もともと開眼供養はお釈迦さまが行っていた儀式で、羅漢堂の奥には大日如来さまと十六羅漢さまが祀られているため、「仏さまに向かって開眼供養をするのは、恐れ多い」という事がよく言われます。

(右上に続く)

それを回避するため、奥の仏様の前に一時的に屏風を設えるのです。

## 海蔵寺の SNS アカウントがオープンしました!!

インスタアカウント: [kaizouji\\_hirosaki](#)

去る2月3日、大浦山海蔵寺のインスタグラムアカウントがオープン致しました。

お寺の情報を中心に、お寺のポータルとしていろいろな情報を広くシェアしていければと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

DM、投稿へのコメントもお気軽にどうぞ！

フェイスブックアカウント: [「大浦山海蔵寺」](#)

こちらは大浦山海蔵寺のフェイスブックアカウントです。基本的にはインスタグラムと同時期・同内容のものをシェアしていく予定です。

こちらはまだ内容は薄いですが、フォローして頂ければ幸いです。相互フォローもさせて頂いておりますので、どうぞよろしくお願致します。

## 今年より、帳場の期間が変わります!!

切符と同封のお手紙でもお伝え致しましたが、**帳場担当者の人員確保困難のため、心苦しい所ながら、今年から帳場の受付期間が変わります。**

	今まで	これから
お盆	8/7~8/16(10日間)	8/10~8/16(7日間)
正月	12/20~12/30(10日間)	12/24~12/30(7日間)
春彼岸	3/18~3/24 (今まで通り、中日を中心として7日間)	

お檀家さん方には多大なご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様のおかげで今日も海蔵寺は運営していくことができいております。厳しい時節でございますが、今後とも大浦山海蔵寺を宜しくお願致します。 合掌

## 編集後記

修行を終えて二度目の春彼岸となりました。最近になり少しずつ、「はじめまして」のお檀家さんが減ってきた気がします。また、ウェブサイトにも SNS と、お寺の運営にも少しづつ起きつつある変革の予感に、ささやかな高ぶりを感じる昨今です。

以前からのコロナとかつてない度合いの不景気に、海蔵寺の役員会においても重苦しい話題が多いこの頃です。しかし、一度しか来ないこの一年をふくれ面で過ごしては負けと思い、精いっぱい「即時則所」を実行していきたい所です。今年も、もうすぐ春が来ますね。 合掌